広報
さめがわ

今月の人口
（9月1日現在）

		前月比
人口	5,370	（－1）
男	2,650	（＋2）
女	2,720	（△3）
世帯数	1,129	（－3）



生きがいをもって

例年にない猛暑の続いた8月3日、第8回鮫川村老人クラブ連合会ゲートボール大会が、さぎり荘ゲートボール場で行われました。

20チームが日頃の練習の成果を発揮し、決勝戦で西野Aチームが西山Cチームを破り、見事優勝しました。

参加した皆さんは、和気あいあいのうちに楽しい1日を過ごしました。

平成2年
9
No. 441

おもな内容

老人福祉週間……2～5
渡瀬簡易水道起工式……6
村議会議員団事業視察……7
東白川郡中学校水泳大会……8
山仕事を安全に……9
10月1日は国勢調査……10
こんにちは、保健婦です……11
農委だより……12
文　芸……13
公民館だより……14・15
話題・トピックス……16・17
お知らせ……18

発行／編集　鮫川村総務課　　塙町　佐藤印刷所

人生90年を生きる



岡部キセノさん（97）

若い頃からくよくよしない明るい性格。
昔はよく働きました。
今でもかぜをひかずに冬でも顔色がとっても良いです。



山形　スエさん（96）

毎日ごはんがおいしく食べられます。特に好物のうなぎとメロンは毎日欠かさず、だからかぜもひかずにじょうぶです。肌がツヤツヤ。



鈴木　ミキさん（95）

今も隠居しています。
気が向いた時は草むしりもします。
好ききらいがなく、いつも腹八分目。暴飲暴食はいけません。

9月15日～21日 老人福祉週間

我が国は、いまや人生八十年時代となり、高齢者福祉の充実は、ますます重要な課題となっています。

誰もが安心して生きがいをもって暮らせる、明るく活力ある長寿社会を築くためには介護対策の充実はもとより、高齢者自身の自助努力とともに、国民一人ひとりが高齢者の問題を自分自身のものとして考えていくことが必要です。

このような観点から、今年の「敬老の日・老人福祉週間」は、国民各層が連帯して実践すべき指針として、高齢者の社会活動、健康づくり、福祉のまちづくり等を強調テーマに掲げ、全国的にキャンペーン運動を展開するものです。

みんなで築こう 明るい長寿社会

【運動の重点】

○高齢者の知識と経験を生かした社会活動を進めよう。
○高齢者の生きがい・健康づくりを進めよう。
○高齢者とのふれあいの輪を広げよう。
○高齢者が安心して生活できる福祉のまちづくりを進めよう。



長生きの秘訣



坂本　チヨさん（93）

今でも縫いものをします。長生きの秘訣は手先を動かすことです。毎日夕方、おちょこに１杯くらいお酒をいただきます。百薬の長です。



矢吹　イツさん（93）

おおような性格で家の人をおこったことがなく、今でも洗濯物をたたんだりして、手足を動かしています。好ききらいがありません。



鈴木　シンさん（94）

くよくよしない明るい性格で、さっぱりしています。今でもメガネをかけないで本を読みます。〝豆で達者に〟豆が好きです。

長寿番付

90歳以上の高齢者

（9月10日現在）

順位	氏名	年齢	生年月日	住所	世帯主
1	岡部キセノ	97	明26・7・25	前沼	康嘉
2	山形スエ	96	明26・11・9	中野町	叶
3	鈴木ミキ	95	明28・7・19	馬場	輝男
4	鈴木シン	94	明29・2・20	鍬木田	松本直春
5	矢吹イツ	93	明30・7・20	仁田	一二
6	坂本チヨ	93	明30・9・10	彦次郎	春光
7	本郷トリ	92	明31・4・6	落合	市次
8	小松フク	92	明31・4・20	大戸中	富治
9	近藤保	91	明32・3・2	新宿	保典
10	三瓶サト	91	明32・3・10	戸草	美好
11	水野芳光	91	明32・5・25	大塩	雅光
12	山形チヨ	91	明32・9・2	木之根	美保
13	木之内コト	90	明32・11・12	下	茂雄
14	吉田イン	90	明32・12・10	芦ノ草	義一
15	白井キク	90	明33・1・3	広畑	和男
16	関根トモ	90	明33・2・2	余所内	久翁
17	水野キイ	90	明33・4・9	宝木	真
18	小松七郎	90	明33・5・6	大戸中	幸次
19	芳賀モン	90	明33・5・31	西野沢	健一

村では、長年にわたり社会につくしてきた高齢者を敬い長寿をお祝いするため、九月十五日に六五一人の方々を招待して「敬老会」を開催します。

村から、敬老年金として八十歳から八十四歳までの方一一五人に八、〇〇〇円、八十五歳から八十九歳までの方六十二人に一〇、〇〇〇円、（県から五、〇〇〇円）、九十歳以上の方一九人に一五、〇〇〇円（県から五、〇〇〇円）が支給されます。

また、昭和の激動期に結婚され、苦楽を共に五〇年の永きにわたり助けあい力を合わせながらよき家庭づくりと地域づくりに貢献してこられた金婚夫婦十組に記念品等が贈られます。



お年寄りの福祉

◇ディ・サービス事業

おおむね六十五歳以上で身体に障害をもち日常生活に介護を要する方を自宅からデイ・サービスセンターに送迎して入浴、給食、生活指導、健康チェック、日常動作訓練等のサービスを行います。毎週一回（月～金）付添いはいりません。

毎週一回（月～金）

午前十時から午後三時まで。料金は一回五〇〇円です。

◇ショートステイ事業

お年寄りを介護している方が、病気、出産、旅行、介護疲れなどで短期の介護援助が必要となったときに一週間程度お年寄りを最寄りの老人ホームでお世話します。

料金　一日　一、九二〇円

◇家庭奉仕員派遣事業

お年寄りの身の回りのお世話や介護、家事のお手伝いなどが必要になったときに家庭奉仕員がお宅に伺って食事などの介護や洗濯、掃除など家事のお手伝いをしたり、相談にのったりしてお世話します。

料金は当分の間無料です。

◇日常生活用具の貸与

長期にわたって臥床しているお年寄り等に特殊寝台マットレス、床ずれ防止のためのエアーパットを貸与しています。

料金は無料です。

◇入浴・布団乾燥車の派遣

ねたきりのお年寄りや心身に障害のあるお年寄り、日頃入浴や布団乾燥の機会に恵まれない方々に対して自宅へ移動車を派遣してサービスをします。入浴は月一回とし、利用料は無料です。



利用方法、手続等くわしくは、住民課福祉係又は社会福祉協議会におたずねください。

こんにちは 家庭奉仕員です

身近な相談相手に！





私たちは、ねたきりのお年寄りやひとり暮らしのお年寄りなどを訪問し、食事、入浴の介護や洗濯、掃除などのお手伝いをしています。また、身近な相談に応じ安心して生活できるようお世話します。

お気軽にご相談ください。



ひとり暮らしのお年寄りを励ます

村社会福祉協議会が主催し、ひとり暮らしの年寄りを対象に年一回慰安行事を行っています。

昨年は、十一月に母子健康センターで十人のお年寄りが参加し、終始なごやかな雰囲気で行われました。

今年も十月下旬頃実施する予定です。

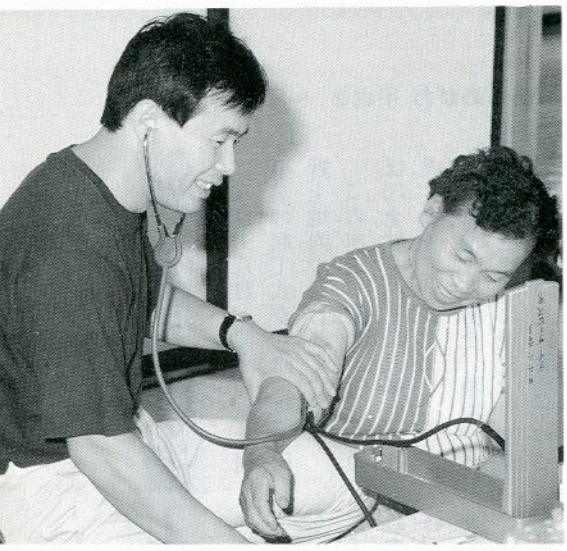


「生きがいの場」として期待されるデイ・サービスセンター

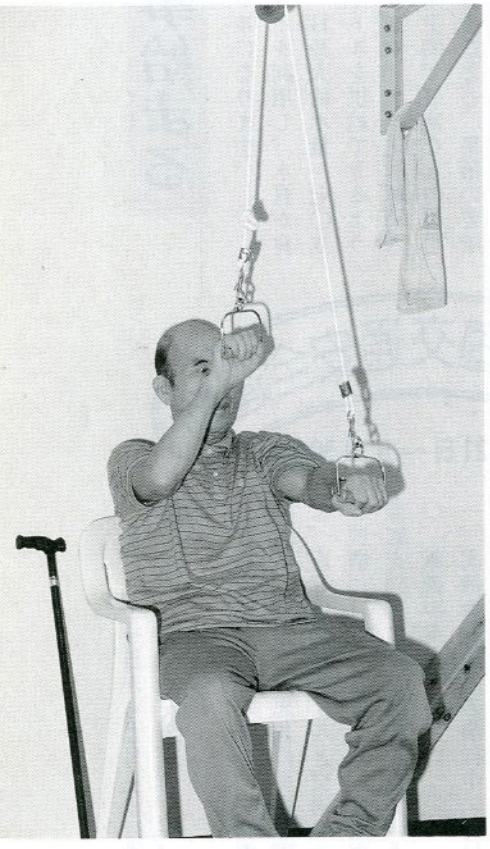
寿恵園

デイ・サービスセンター寿恵園は、昨年十月、棚倉町に開所しました。

デイ・サービステンター寿恵園は、様々な障害をもつお年寄りが、地域社会の中でより明るく、健やかに生活できるよう自宅から通所して日帰りでサービスを受ける施設です。鮫川村では、一五人の方が利用しています。

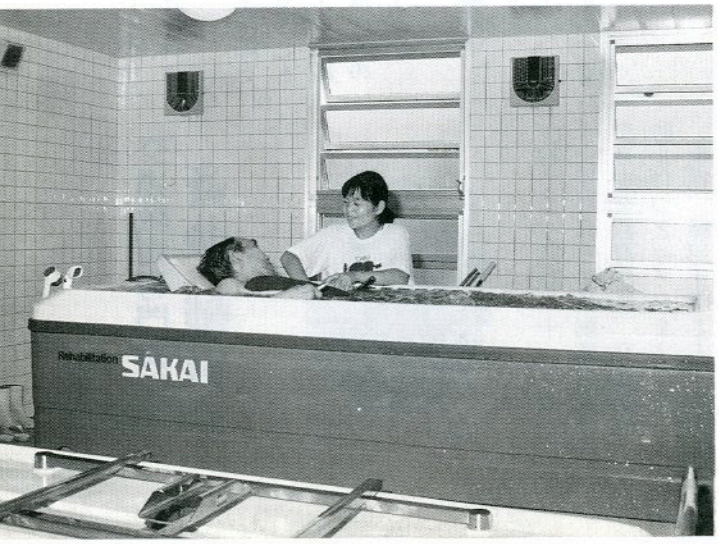


午前10時30分
健康チェック
利用者全員の血圧・体温・脈拍を測定します。
健康相談にも応じます。



午前11時
利用者の状態に合わせて日常動作訓練・レクリューションも行われます。

午後1時30分
利用者が一番楽しみにしている入浴。身体が不自由な方は寝たまま入れる特殊浴槽に。





渡瀬簡易水道工事始まる



八月十八日、渡瀬簡易水道事業の起工式が、水源地の田野上地内で行われました。

この水道事業は、渡瀬区のほぼ全域を対象に三年間で完成する予定です。

配水池を田野上、福原、江竜田の三か所に設置、自然流下で、五一〇人に供給され、配水管の総延長は九・五キロメートルになります。

わき水を利用し、水質が良く、一日最大給水量一七〇立方メートルを供給できるようになります。水不足も解消され、衛生的で豊富な水の利用ができることと、集落の要所には消火栓も設置されるので火災時の初期消火にも役立つ施設となります。

秋の全国交通安全運動

９月21日～９月30日

九月二十一日から九月三十日までの十日間「秋の全国交通安全運動」が実施されます。

この運動は、広く国民に交通安全知識を普及し、交通安全思想の高揚を図るとともに、正しい交通ルールと交通マナーの実践を習慣づけることにより、交通事故防止の徹底を図ることを目的としています。

◇ 運動の重点

一、高齢者と子供の歩行中（特に横断中）及び自転車利用中の交通事故防止
二、青少年運転者の無謀運転の防止
三、シートベルト・ヘルメットの正しい着用の徹底
四、違法駐車の締め出し
五、夜間の交通事故防止

高齢者交通安全旬間

９月11日～９月20日

高齢者の事故が多発しています。みんなで高齢者の交通事故を防止しましょう。

《高齢者交通安全五則》

一、信号をよく確かめて渡りましょう。
二、横断は右左をよく見てまっすぐ渡りましょう。
三、車の直前・直後の横断はやめましょう。
四、夜間、外に出る時は明るい服装で反射材を身につけましょう。
五、自転車に乗るときは、交差点や曲がり角で必ず止まりましょう。

交通教育専門員に 斎藤 輔男さん



村では、昭和六十一年度から交通教育専門員制度を設け交通安全教育活動、交通事故防止につとめています。

現在、緑川正昭さんが交通教育専門員として活躍されていますが、九月一日付でもう一人交通教育専門員が増員され、斎藤輔男さん（大字赤坂東野字広畑）に委嘱状が交付されました。

交通教育専門員の主な業務は、保育所・幼稚園・学校・社会学級等での交通安全教育街頭指導、交通安全関係ボランティア団体の育成等で教育活動を実践的に行います。

また、斎藤さんは現在交通安全協会鮫川支部の役員になっており、交通安全の推進につとめられています。

村議会議員団 各種事業を視察



▲整備された団体営農道上大塩地区を視察



▶西山飲料水供給施設、水源地を視察

村政諸施策の成果を確かめる村議会議員団の事業視察が八月二十七日実施されました。

平成元年度に村内各地で実施した道路の舗装や改良、災害復旧事業、飲料水供給施設などを視察しました。

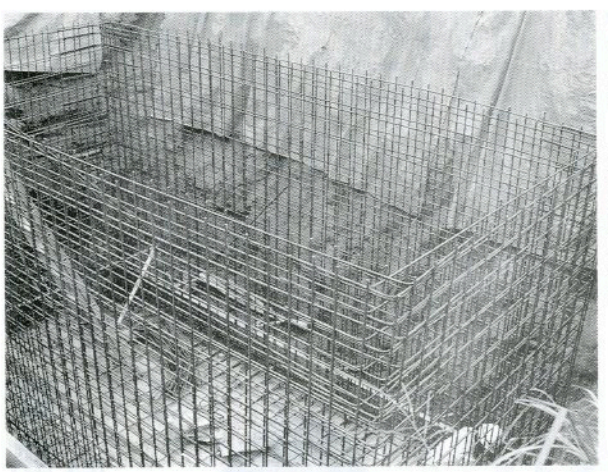
視察終了後、検討会が行われ、今後の課題などについて話し合われました。

強化される消防施設

消防力の増強を図るため、補助事業により最新の小型動力ポンプを購入し、八月二十一日役場前庭で第三分団（宝木班）と第四分団（中野町班）に交付しました。

交付式では、まず、分団長から団長へ、団長から村長に古い管鎗が返還され、続いて村長から団長へ、団長から分団長に新しい管鎗が交付されました。

村長から「消防施設整備には力を入れ、消防力の強化を図っております。今年度は防火水槽三基も着工しています。交付する新しい機械に早く慣れ、地域住民に信頼されるよう訓練に励んでください」とあいさつがあり、続いて団長から「高性能のポンプであり操作に早く慣れ万全を期すように」との訓示のあと、第三分団長が誓いのことばを述べました。

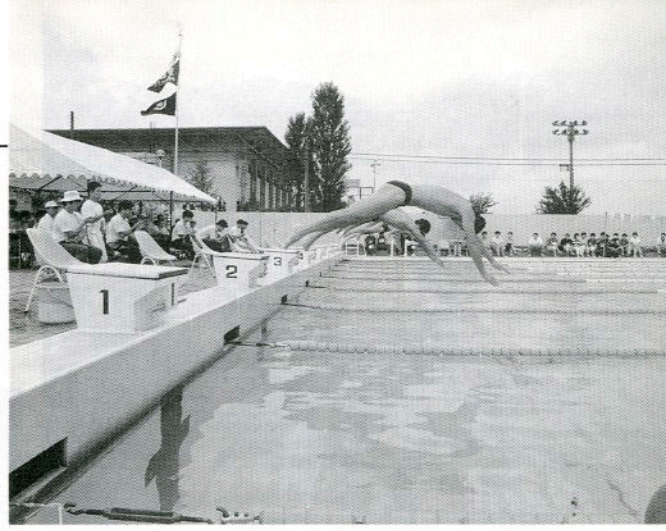




赤十字救援車配置される

日本赤十字福島県支部では事業の一環として災害救護装備の充実を図るため、県内市町村に毎年救援車を配置しており、今回本村に配置されました。この車は災害時の救援はもちろん、日赤奉仕団の奉仕活動並びに福祉事業に使用されます。





東白川郡中学校水泳競技大会

鮫川中男女 総合優勝！

個人の部で10種目制覇

八月二十九日棚倉町営プールで第一七回東白川郡中学校水泳競技大会が行われ、鮫川中学校は陸上競技の総合優勝に続いて、水泳でも総合優勝を果たし、郡内に〝鮫川〟の名を広めました。

■男子

▼五〇㍍自由形②岡崎進也▼一〇〇㍍自由形②芳賀篤徳（大会新）▼二〇〇㍍自由形①芳賀篤徳2分48秒53（大会新）③鈴木文明▼四〇〇㍍自由形②岡崎進也③矢吹靖弘▼五〇㍍平泳②森隆之▼一〇〇㍍平泳②石井幹夫▼二〇〇㍍平泳③森隆之▼五〇㍍バタフライ②森紀幸▼一〇〇㍍バタフライ①森紀幸③前田照文▼五〇㍍背泳①藤田耕治34秒96（大会新）②佐川一男▼一〇〇㍍背泳①藤田耕治1分23秒47（大会新）③田子聡▼二〇〇㍍背泳①佐川一男▼二〇〇㍍個人メドレー②石井幹夫▼学校対抗二〇〇㍍メドレーリレー①鮫川中2分22秒18（大会新）▼総合成績……優勝

■女子

▼五〇㍍自由形①蛭田育美③矢吹祐枝▼一〇〇㍍自由形②土手内智子▼四〇〇㍍自由形②蛭田育美③矢吹祐枝▼五〇㍍平泳①湯坐美香子②岡部久子▼一〇〇㍍平泳②岡部順子▼二〇〇㍍平泳①湯坐美香子▼五〇㍍バタフライ②宗田香織（大会新）▼一〇〇㍍バタフライ①宗田香織1分35秒81（大会新）②小松由紀（大会新）▼五〇㍍背泳②沢口久美子▼一〇〇㍍背泳①宗田鈴穂②塩田育恵▼二〇〇㍍背泳②塩田育恵▼学校対抗二〇〇㍍メドレーリレー①鮫川中2分43秒20（大会新）▼総合成績……優勝

福島県青少年育成県民運動推進指導員に 鷺野谷 弘行さん



青少年育成県民運動推進指導員は青少年育成県民会議に所属し、地域における青少年育成県民運動の推進活動を図るため、鮫川村の指導員として大字富田字二反田の鷺野谷弘行さんが福島県青少年県民育成会議会長から委嘱されました。

指導員の活動内容は、地域における青少年問題の実態把握、青少年育成にかかわる関係諸行事の促進と参加、相談指導、組織づくり推進、健康な家庭づくり推進、社会環境強化活動、その他地域における必要な青少年育成のための推進に協力するなどです。

今後鮫川村の青少年健全育成のために活躍が期待されます。

目や上肢の不自由な皆さんへ

104番への電話番号問い合わせは、今年の十二月一日から、一番号案内につき三〇円の有料案内になりますが、目や上肢等が不自由なために電話帳の使用が困難な方は、無料で番号案内を利用できます。

希望される方は次により、申込んでください。

○**対象となる方**
身体障害者手帳をお持ちの方
◇視覚障害……一～六級
◇上肢・体幹……一・二級
戦傷病者手帳をお持ちの方

○**申込方法**
NTTの支店窓口での申込み、又は郵送

○**申込期間**
九月一日から十一月上旬

○詳しいことは、役場住民課又は、116番におたずねください。



山仕事を安全に

林業労働災害をなくしましょう

これから、伐木造林作業が忙しくなってきます。安全な作業に心がけ、みどりの山から労働災害をなくしましょう。

①強風（風速一〇m以上）などの悪天候のときは、作業を中止しましょう。

②数人で同じ斜面で作業をする場合は特に留意し、上下作業、接近作業にならないようにしましょう。

③立木伐倒の際、かん木・つる等危険性のあるものは、あらかじめ取り除いておきましょう。

④付近に他の作業者がいないことを確めてから伐倒しましょう。

⑤伐倒木がかたむきはじめたら、すぐにあらかじめ決めておいた退避場所に移動しましょう。退避場所は、伐りたおす方向の反対側の斜面上方で三メートル以上離れた箇所とし、できるだけ立木の陰を選びましょう。

⑥かかり木の処理には、十分注意しましょう。けん引具を利用すると安全です。手におえないと判断したときは、熟達者に処理してもらいましょう。

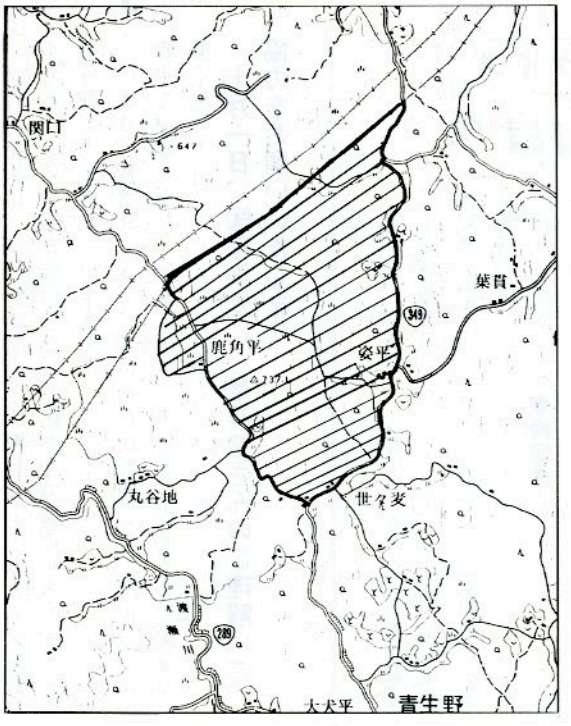
⑦玉切り作業は、斜面の上部で行いましょう。どうしても斜面下部で作業しなければならないときは、ロープなどで材を固定してからにしましょう。

⑧十分な休憩時間をとって仕事をしましょう。

鹿角平地区 銃猟禁止区域に

平成２年11月１日から平成12年10月31日までの10年間、鹿角平地区が銃猟禁止区域となります。

この区域は村の観光地であり、村内外より観光客が多く訪れることから、銃猟による事故を防ぐことと、キジ、ノスリ、ヒバリ等の繁殖地でもあり、野鳥を保護するために銃猟禁止区域の指定となったものです。



白河広域圏消防本部 消防吏員募集

白河地方広域市町村圏整備組合では、平成二年度消防吏員採用候補者試験を次のとおり実施します。

一、採用予定人員

男子　若干名

二、受験資格

㈠ 学力

高等学校卒業程度以上の学力を有すること。（学歴は問いません。）

㈡ 年齢

昭和四十一年四月二日から昭和四十八年四月一日までに生まれた男子。

㈢ 身体の基準

ア、身長…一六五cm以上
イ、体重…五三kg以上
ウ、胸囲…身長の二分の一に〇・九を乗じた数以上。

三、試験の期日及び場所

㈠ 筆記試験

期日　平成二年十一月四日(日)
場所　県白河合同庁舎（白河市昭和町二六九）

㈡ 身体検査

白河保健所
日時は後日通知します。

㈢ 面接・体力テスト・作文

日時・場所は後日通知します。

四、受験申込手続の方法

㈠ 受験申込書は、消防本部総務課、消防署及び分署に備えてあります。

なお、郵便により申込用紙を請求する場合は、封筒の表に「試験申込用紙請求」と朱書し、七二円切手を貼った宛先明記の返信用定形封筒を必ず同封してください。

㈡ 申込先（問合せ先）

郵便番号　九六一
白河市字立石山一五－一
白河地方広域市町村圏消防本部　総務課人事係宛
☎〇二四八－二二－二一五五

五、受験申込受付期間

平成二年九月一日から同年九月三十日まで
郵便による申込みの場合は、九月二十五日までの消印のあるものに限り受付けます。

10月1日は国勢調査

生きている日本をキャッチ

〈二十一世紀の日本を考える基礎です〉

十月一日、全国一斉に国勢調査が行われます。この調査は、大正九年から五年ごとに行われ、今回は十五回目に当たります。日本に住んでいるすべての方が対象となりますが、特に今回は、二十一世紀の日本を考える基礎づくりという重要な意味があります。

〈簡単です、安心です、調査内容〉

調査は、まず、九月下旬に調査員がお宅にお伺いし、世帯ごとに調査票を配布します。

調査内容は全部で二十二項目。ご家族全員の氏名、出生の年月、就業状況などです。

旅行などで一時留守にしている方、長期滞在している方、生まれたばかりの赤ちゃんも含まれます。

記入していただいた内容を、他に漏らしたり、統計以外の目的に使用することは法律で固く禁じられています。どうぞ安心して、ありのままを正確に記入してください。

〈暮しに生かされます、国勢調査〉

国勢調査は、法律に基づいて国が行う調査です。調査の目的は、わが国の人口を正確に把握するほか、急ピッチで進行する高齢化社会や国際化社会、人口移動の実態、母子家庭、父子家庭、高齢者世帯の把握、住宅事情の把握など、日本の現在の姿を正確に知ることにあります。

調査の結果は、国や都道府県、市町村が、これからの行政を考えていく大切な資料となり、私たちの暮らしのさまざまな分野で生かされていきます。

つまり、皆さんに記入していただいた答えが、国民全体の貴重な財産となり、快適で住みよい日本、安心できる未来を築くための道しるべとなるのです。

十月一日、国勢調査に、是非皆さんのご理解、ご協力をお願いいたします。



数字から
描く日本の ゆめ・みらい

平成２年国勢調査・福島県人口クイズ

10月1日福島県の人口は？

県では、平成二年国勢調査の福島県人口クイズを行います。

問題は「平成二年国勢調査による平成二年十月一日現在の福島県の人口は何人でしょうか」です。下の参考資料を基に、人口を予想してください。

◆応募資格
福島県内の居住者

◆応募方法
・官製はがきに限ります。
・一人一枚一回答に限ります。
・住所・氏名・年齢・職業（学年）・性別・電話番号を記入（横書き）してください。

◆締切日
平成二年九月三十日（当日消印有効）

◆送り先
〒九六〇福島市杉妻町二－一六 福島県統計調査課

◆発　表
国が官報で公表する福島県の「人口総数」により入賞者を決定し、平成三年一月中に本人あて通知します。

◆賞　金
一等一名（的中者又は最も近い人）　五万円
二等二名（一等の次に近い人）　三万円
三等五名（二等の次に近い人）　一万円
等外五〇名（三等の次に近い人）　記念品
・同数回答が多い場合は、抽選により決定します。
・高等学校以下の児童生徒には、賞金相当の図書券を贈呈します。

◆その他
この応募に関する人口の問い合わせには応じられません。

〈参　考〉

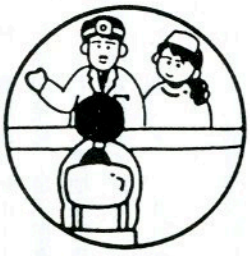
年　次	人　口(人)
昭50.10.1(国勢調査人口)	1,970,616
〃55.10.1(　〃　)	2,035,272
〃60.10.1(　〃　)	2,080,304
昭61.10.1(県推計人口)	2,085,421
〃62.10.1(　〃　)	2,091,150
〃63.10.1(　〃　)	2,095,154
平元.10.1(　〃　)	2,099,552
〃２.10.1(国勢調査人口)	?

こんにちは 保健婦です

参加してみませんか!!（参加者受付中）

難病相談会と交流会（無料）があります。

この相談で、難病の方の医療や生活等について、医師・保健婦が相談に応じます。



この機会に、他の患者さんと情報交換・交流をして、日頃かかえている悩み・問題等を解決する一助としてみてはいかがでしょうか。



〈申込み〉鮫川村役場・住民課（保健婦）に、10月11日まで。（当日参加もできます）

〈日時〉平成2年10月18日（木）午後1時30分～3時30分

〈場所〉棚倉保健所 ☎（33）2241～2

〈主催〉福島県難病団体連絡協議会 ☎0245（21）3392

※詳しくは、棚倉保健所又は鮫川村役場住民課におたずねください。

目標は一日一万歩

秋到来！身体を動かしやすい季節となりました。

日頃、運動不足でちょっぴり太めの人も、そうでない人も、この季節に身体を動かしてみてはいかがでしょうか。



運動には大きく分けて有酸素運動と無酸素運動があります。呼吸をしながらの有酸素運動は、健康面に非常に有効な運動です。

例歩く、走る、泳ぐ、自転車乗りなど。

※走ることは運動強度が強くなりがちで、心臓に負担がかかりますので、誰にでもできるのは、「歩く」ことです。

◆「歩く」運動を続けると◆

○心肺機能の強化
○毛細血管の発達により高血圧を改善
○良いコレステロール（HDL）が増える。
○インシュリンの働きが良くなり、血糖を正しく保つ。
○骨が丈夫になる。

◆ただ単に歩けば良い、というわけではない◆

〈歩き始める前に〉

○自分の脈拍をはかっておきましょう。
○親指側の動脈の上に、3本の指をそろえて当て、1分間脈拍数をはかる。



○歩く時には、脈拍が100を超える程度のスピードで。
○軽いウォーミングアップ
膝の屈伸運動、背伸び、上半身ひねり。
アキレス腱伸ばしなど。

◇さあ歩き始めましょう◇

○始めの5分位は心もち、ゆっくりと。
○徐々にピッチを上げて20分位歩く。うっすらと汗をかくぐらいが良い。
○息が切れてきたらペースダウンして5分位歩く。

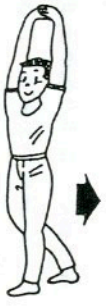
◆歩き終ったら◆

膝の屈伸運動



足をぶらぶら

座った姿勢で







農委だより

農地違反転用防止対策強化月間

9月1日～30日

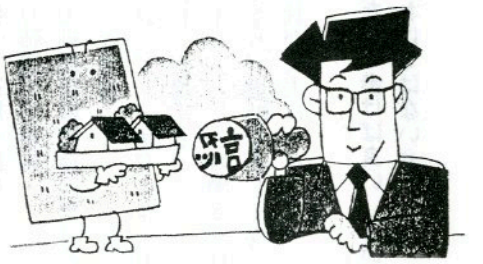
農業委員会系統組織では、昭和五十九年度以来、「農用地適正管理推進運動」に取り組み、優良農用地の確保、農地の有効利用対策を推進しており、特に農地違反転用の未然防止と早期発見、是正指導を図るとともに、農地法等農地制度の周知徹底を図ることが重要な課題であり、本年度も、九月一日から九月三十日の一か月間を「農地違反転用防止対策強化月間」として運動を展開しています。

この運動は、農地管理パトロール等を実施し、無断転用、耕作放棄や荒し作りなどの防止につとめ、優良農地の維持保全につとめることをねらいとしています。

しかし、無断転用や荒し作りは依然として後を絶たないのが現状です。

農地等を他の用途に転用する場合は、農地法による許可が必要となります。

農地転用についての相談は、地元農業委員、又は農業委員会におたずねください。



農業委員研修会開催される

去る八月二十九日、三十日の二日間、白河市白河農協大ホールで、東白川地方、西白河地方市町村各農業委員を対象に研修会が開催されました。

この研修会は、県農業会議、地方農業委員会連合会が主催となり開催されたもので、約二〇〇人の農業委員が出席しました。

この研修会の大きな目的として、わが国農業は、農産物の市場開放をはじめとする農業の国際化の進展の下で、土地利用型農業の規模拡大の遅れや、農業生産の担い手の高齢化、新規就農者の減少など多くの困難な課題に直面しており、これが事態に対処するため、地域の実態を踏まえた農業構造改革の推進と、農村地域の活性化が必要であり、農業委員会はその主体的な推進役として活躍が期待されており、これら山積する諸課題に対処し得るため、資質の向上と、農業委員会活動の強化を図るものです。

開会式では、県農業会議松田副会長のあいさつのあと、鈴木白河農政事務所長のあいさつがあり、引き続き研修に入り、「農業をめぐる諸情勢について」鯨岡白河農政事務所次長の講演があり、「農業委員会法について」白河農政事務所尾形係長による講演を受講し、引き続き「農業委員会の諸事業について」「農業委員会の役割と任務について」県農業会議担当者による講演を受講し、第一日の研修が終了しました。

第二日目は、「農地法に基づく業務について」「農用地利用増進法について」白河農政事務所担当者による講演、「農地保有合理化事業の概要について」県農業開発公社担当者による講演を受講し、二日間有意義な研修を受講しました。

福島県農業会議常任会議員に
国井前会長選任される



去る八月一日、東白川地方農業委員会連合会の臨時総会が開催されました。

農業委員の統一選挙に伴ない、福島県農業会議六号会議員（学識経験者）の改選も行われ、前鮫川村農業委員会会長の国井嘉康氏が万場一致をもって東白川地方の会議員として選出されました。

また、去る八月十日福島県自治会館で農業委員統一選挙後の臨時総会が開催され、福島県農業会議常任会議員に当選されました。

今日の農業を取り巻く情勢は極めて厳しく、農政の転換期とも言える重要な時期であり、このたび常任会議員に選任された国井委員さんの活躍が期待されます。



地元農業委員は皆さんの良き相談役

新しい農業委員の業務担当地区が、左の表のようになりました。

農地の売買、交換、貸し借り、転用等農地に係ることや農業者年金、制度資金等に関し、知りたいことなどありましたら、地元農業委員に気軽にご相談ください。

行政区	委員名	担当集落名
赤坂西野	緑川 多氣志 関根 正一 緑川 勤	仁田、滝、虹ケ沢、酒垂、本坂、茅 荻ノ沢、塩倉、前折戸、滑石、上、中、西、浅屋敷、藪 岡田、石ノ花、寅卯平、草牛、蕨平、石神、岫長、火打石
西山	本郷 良光 関根 昭八 本郷 貢	折戸、後折戸、大沢、余所内、大平、土路部、追木、西野内、宝木、押野 水口、田中、菅田、菅ノ目、赤柴、戸倉、発地岡 落合、岩野草、鍛治平、大久保、横座、鐘撞堂
赤坂中野	矢吹 一男 円井 操 鈴木 辰男	新宿、馬場、鬼越、辺栗 真坂 取上、大塩、薄ケ久保 道少田、官沢、前田
赤坂東野 石井草	前田 初 芳賀 清	前田、広畑、木戸沢、戸草、新立、滝ノ下、芦ノ草、蕨ノ草、大竹、葉貫 石井草、官代、内ケ竜、楢久保、大房、中内、遠ケ竜、唐露、大根屋敷、大石草
富田	青戸 孝夫 船木 彦助	彦次郎、前沼、中沢 二反田、反田、鍬木田
渡瀬	蛭田 晃 芳賀 寛一	中山、福原、田苗下、田尻、田ノ上、関口、関下、越虫 江竜田、大戸中、下、木之根、中ノ町、上耕地
青生野	生田目 忠之助	青生野全域



俳句

大塩 矢吹 呂孝
朝顔の花動かして蜂去りぬ
宿ノ入 田中 義明
乳茸のしろの四辺と行き戻る
横座 矢吹 茂
ふるさとに来てくり返す木の香り
押目 素人 坂
ゆきあいの雲見らるるもなお酷暑
新宿 斉須 信子
父の目に見えている筈稲の花
反田 小山田清哲
夏逝くとガン精検のカメラ飲む
道少田 山本五十鈴
敗戦忌山河越え来る挙手の霊
押野 山本 恵子
大花火二両列車の通り過ぐ
鮫川高校 沢 草二
峠はや夏鶯に胸衝かれ

短歌



岫長 北條 平
玉の汗流して舗装路仕上げればなぐさめのごと俄雨降る
前沼 岡部世志江
体育が一番好きと笑う孫それも良いわとわれもうなづく
棚橋 関根 一好
じりじりと身をやく程に鳴く蟬よカレンダーめくれば八月十五日
本坂 円谷 好男
台風去り水嵩増しし川の瀬に鴨の親子がゆるりと遊ぶ
田苗下 蛭田 浩市
チェンソーの刃にあまりある大木を伐りて一日を短かく覚ゆ
関口 藤田 マサ
大久保 生田目孝子
線香花火散り亡き友の顔うかぶ
道少田 山本 朗史
ミニトマトるいるいと置きシヨウ終る
青生野 吉成 タカ
台風の後に残した水たまり夕焼雲を映して澄めり
新宿 関根 京子
病癒えず盆の終りに逝きしひと偲びて語る健やかな日々
名下 須藤美代子
「あれが鳩」街住みの児が聞き返えすデッポッポーと山鳩の啼く
福原 蛭田 正
お盆にはお姉ちゃんが帰省（かえ）ると受話器置く幼ら二人七夕飾る
酒垂 石井 カヤ
今日もまた夫の無事故を祈りつつかばんの中に御守入れる
広畑 岡部ヒサ子
初鳴きのミンミン蟬は一刻を周波数さえ変えてまた鳴く
越虫 星 武
老杉に古都をしのびて立ちどまり横ばえの根に手をふれてみる
新宿 杉山 忠男
青田原二分けにして貫く道を車高らにジャズ鳴らしゆく
県南のソフトに孫は選ばれてトロフィー持ちて得意の笑顔
大石草 鈴木イミ子
水の輪に誘われながら寄る岸辺、中内堰にやまめら群れる
青生野 吉成 タカ
台風の後に残した水たまり夕焼雲を映して澄めり
新宿 関根 京子
病癒えず盆の終りに逝きしひと偲びて語る健やかな日々
名下 須藤美代子
「あれが鳩」街住みの児が聞き返えすデッポッポーと山鳩の啼く
福原 蛭田 正
お盆にはお姉ちゃんが帰省（かえ）ると受話器置く幼ら二人七夕飾る
酒垂 石井 カヤ
今日もまた夫の無事故を祈りつつかばんの中に御守入れる
広畑 岡部ヒサ子
初鳴きのミンミン蟬は一刻を周波数さえ変えてまた鳴く
越虫 星 武
老杉に古都をしのびて立ちどまり横ばえの根に手をふれてみる
新宿 杉山 忠男
青田原二分けにして貫く道を車高らにジャズ鳴らしゆく

すべて自分がやった5日間 原始生活体験教室

住みかも、便所も作った、毎日の食事だって



『やったね！』

親に頼らず自分たちの力で生活する原始生活体験教室が中学生四人、小学生一二人の計一六人が参加し、八月二十日から二十四日にかけ、四時川渓谷の国有林内で実施されました。

親に与えられるだけの生活をしている子供たちにとってすべて自分がやらなければならない生活は苦しい様子でしたが、五日間にわたる自分たちだけの生活を見事乗りきることができました。



▲ 住みかづくり
骨組みをしっかりと



◀ 石焼料理、味はどう？



▲ かやかけ作業
みんなでやれば、はやい



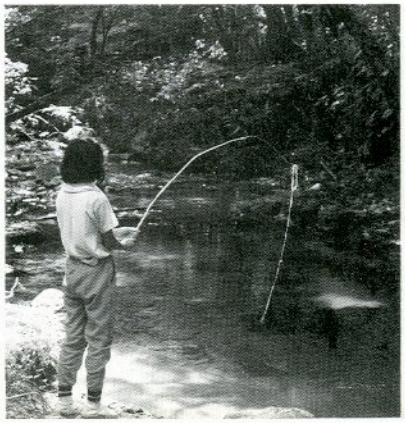
◀ せんたくも自分で！



▲ 火起し
確かにつきました。



▶ つるのぶらんこ



▶ 釣道具だって自作品

公民館だより

市町村対抗駅伝
結団式で健闘を誓う
～鮫川村初出場～

第二回市町村対抗福島県縦断駅伝競走大会に出場する鮫川村の選手団結団式は、一日午後七時から山村開発センターで行われました。

結団式には候補選手二三人と保護者、各関係者ら八〇人が出席しました。鮫川村の大会本部長の芳賀村長代理の緑川助役があいさつをし、蛭田一村議会議長が激励の言葉を述べられました。続いて選手団が紹介され、団長の生方利夫村体育協会長、監督の佐藤勝久鮫川中教諭があいさつをし、候補選手を代表し中條雅彦さん（東白農商高鮫川分校教諭）が決意を表明しました。

候補選手は、これからの練習の成果によって大会出場選手一八人の座を勝ち取ることになりますので、お互いに練習を積み重ねその力を十分に発揮し、健闘し合うことを誓いあっていました。

鮫川村チーム編成は監督、コーチ、選手を含めて二〇人で選手は一八人となりますので、これからの記録会等で十月末日までに決定されます。

選手団は次のとおり

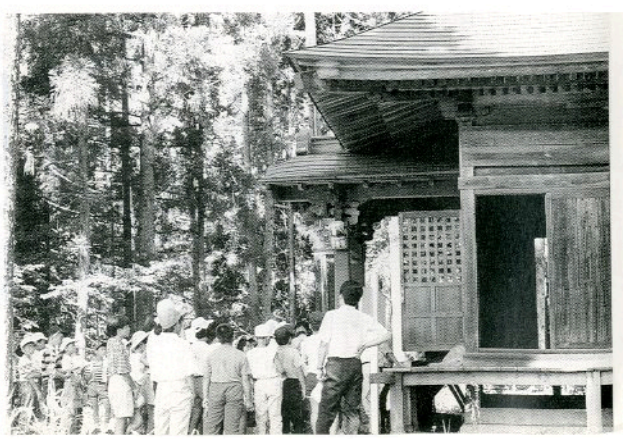
▽団長生方利夫（村体育協会長）▽監督佐藤勝久（鮫川中教諭）▽コーチ郷田均（鮫川中教諭）、中條雅彦（東白農商高鮫川分校教諭）▽マネージャー金沢満、南條仁孝（村教育委員会）▽選手、中條雅彦（東白農商高鮫川分校教諭）、中川西浩二、高野勇一、薄葉昌幸、諸橋晴彦（岩瀬農業高）、白坂吉美、舟木精一（東白農商高鮫川分校）、前田美香、生田目真子（学法石川高）、湯坐秀弥、松本和、舟木裕樹、藤田大樹、北條訓、坂本長生、舟木敏勝、目黒信一、鈴木洋一、諸橋忠男、円谷恵、円井こずい、大竹紘子、我妻由美子（鮫川中）

文化財教室

小学生、先人の足跡を訪ねる

村内の小学四～六年生を対象に、私たちの祖先の足跡を訪ね、ふるさとについて考え、文化財の重要性を認識してもらおうと毎年実施している文化財教室が、八月七日に五八人（新任教諭研修者五人を含む）が参加して行われました。

山村開発センターから二台のスクールバスに分乗し、水野家書院、西山のイチイ、追分石、切石観世音、富田薬師堂、江竜田の滝、赤坂家長屋門、救荒修祭記碑、鹿角平、天狗橋と、七か所の史跡・文化財、三か所の名勝地合わせて十か所を見学し、先人の生活に思いを馳せました。



第四回社会学級講座
「村政教室」
予算と重点事業について

第四回社会学級講座が八月二十七日から六日間にわたり各学級ごとに緑川助役を講師に招き開催されました。

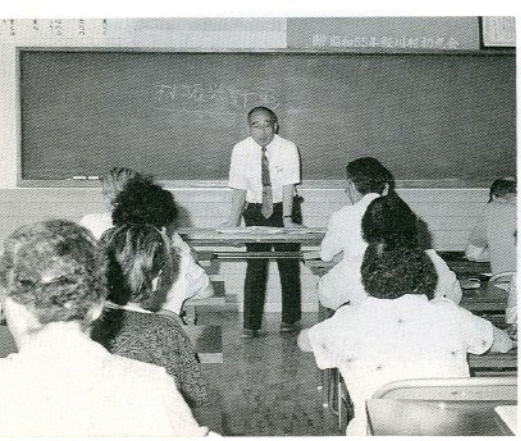
平成二年度の事業や予算について、こと細かに講演される中に、身近な問題や事業にも触れられることなどから熱心に耳を傾けていました。

講演後に貴重な意見や、質問が活発に出され、これに対して、今後の課題については善処すべく努力するなど懇切丁寧に説明され、有意義な話し合いが行われました。

これにより、更に村政に対する認識が高まり、活力ある村づくりのために老若男女を問わず協力しようとする気運が湧き出るものと思われます。

午後は、学級により趣味の時間をカラオケやゲートボールで楽しく過ごしました。

普段、大きい声で歌う機会の少ない皆さんが、カラオケでは和気あいあい、大張り切りで素晴らしい美声を披露していました。



鮫川小合唱部 県大会に出場

九月四日、東白川小中学校音楽会が行われ、鮫川村からは鮫川小、青生野小、西野小、鮫川中が出場しました。

コンクールの部に出場した鮫川小は夏休みもお盆の三日間休んだだけの猛練習を続けてきました。

その結果、小学校の部で〝優秀校〟に選ばれ、九月十八日に相馬市民会館で開かれる県大会に出場します。県大会ではさらに練習の成果を発揮されるよう期待します。



第13回 ラジオ体操大会

鮫川郵便局主催の「第一三回ラジオ体操大会」が、八月二十五日に村内小学校の児童一〇二チームと父兄、ライオンズクラブ会員など八〇二人が参加して行われました。

鷺野谷体育指導委員の指導により、参加者全員でラジオ体操第一と第二を行ったあと、児童のなわとび大会が行われ五分間に何回とべるか挑戦しました。





寝たきりのお年寄りなどに 手作り前掛けを

村商工会婦人部（部長＝宗田ハルノさん）から、村内の寝たきり老人の皆さんへと、心のこもった手作りの前掛けが贈られました。

さっそく各地区の民生委員さんを通じ、35人の方々にお盆前に配布され、喜ばれました。本当にありがとうございました。

村内建設業各社 奉仕作業を実施

八月は「道路をまもる月間」と定められ、道路愛護思想を普及させるための運動が行われました。特に八月十日の「道の日」には建設業者の皆さんが奉仕作業を予定していましたが、台風が上陸し天候が悪く、十一日に主要国・県道、村道等の空カン拾いの奉仕作業が行われました。

建設業各社の御協力に感謝します。



話題・トピック

緑が育つ、人が育つ 輝く準特選

福島県緑化推進委員会が主催する第十七回福島県緑の少年団発表大会において、県内に結成されている三十七団の代表者がそれぞれ活動状況、地域社会における貢献度、将来の活動ビジョン、目標、発表態度等総合的に審査され、西野小みどりの少年団が準特選に選ばれ、県教育長賞を受賞しました。

県大会での表彰式には、県内の少年団員約一千七百人が参加し、盛大に開催されました。





ミスやまゆり決まる

村商工会主催によるミスやまゆりコンテストの最終審査会が８月30日開催されました。

投票によって選ばれた上位10人の中から、審査員14人の審査によりミスやまゆり３人、準ミスやまゆり７人が決まりました。

ミスやまゆりには（写真左側から）、星光栄さん（赤坂西野字藪）、石井和子さん（富田字中沢）、青戸真樹さん（富田字前沼）が選ばれました。

婦人会ボランティア さぎり荘を清掃

村婦人会（会長田子陽子さん）では、村民保養施設「さぎり荘」を利用する方に快く利用してもらえるよう、毎年ボランティア活動として清掃作業を行っています。

今年も八月二十六日に本会、分会の役員一八人が各室をはじめ、風呂、障子張り、食器洗い、座蒲団カバーの洗たくなど施設全般にわたって清掃され、利用者の皆さんから感謝されています。



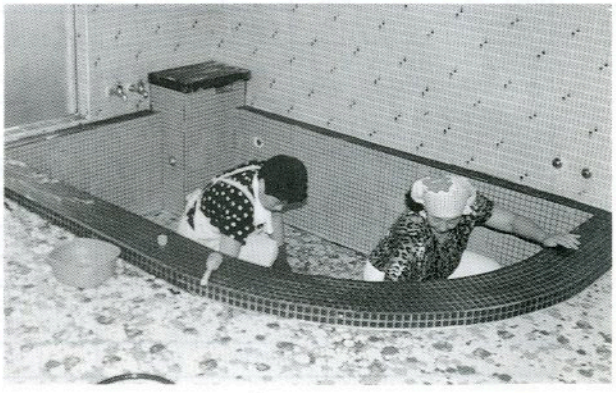
気分は最高！

燧ケ岳を征服

七月二十三日、二十四日、〝高校生のつどい〟が行われ総勢四七人が燧ケ岳登山にチャレンジしました。

檜枝岐村のキリンテキャンプ場に一泊し、沼山峠から尾瀬に入り燧新道よりアタック、山頂をきわめ、御池ロッヂに全員無事に下山。

難行程を走破したことにより山の魅力を知り、登山経験を積むことができ大変有意義なつどいとなりました。



お誕生おめでとうございます

住所	赤ちゃんの名前	生年月日	保護者
戸草	矢内かおり	8／1	矢内安正
田ノ上	蛭田　真吾	8／2	蛭田和浩
上野町	吉田　悠太	8／10	吉田成一
巡ケ作	塩田　正輝	8／12	塩田正三

おくやみ申し上げます

住所	亡くなられた方	年齢	世帯主
前押野	緑川　花枝	78	緑川ウラ子
越虫	石井　忠男	60	石井　キミ
木之根	赤坂　幸猪	55	赤坂　浩幸
前田	金澤　たけ	39	金澤　吉衛

心あたたまる寄附

（村社会福祉協議会）

○ 前押野　緑川　ウラ子様
亡母（花枝様）の遺志により　二〇、〇〇〇円

○ 木之根　赤坂　浩幸様
亡父（幸猪様）の遺志により　一〇〇、〇〇〇円

○ 前田　金澤　吉衛様
亡妹（たけ様）の遺志により　三〇、〇〇〇円

心配ごと政相談

9月20日（木）
午前10時～午後3時
山村開発センター
なお、午後1時から午後3時までは、弁護士が相談に応じますので、ご利用ください。

今月の納付

固定資産税　第3期
国民健康保険税　第4期
国民年金保険料
納期限　9月25日

敬老会　9月15日

高齢者交通安全旬間　9月11日～20日

秋の全国交通安全運動　9月21日～30日

秋季清掃・道路河川愛護作業・火防督励　9月24日

10月1日は国勢調査

あなたの家にも調査員が伺います
ご協力をお願いします

ゴミは収集日に

収集コース	種別	9月	10月
江竜田～中野町～福原～彦次郎～鍬木田～前沼～広畑～湯ノ田～巡ケ作～役場～保育所コース	可燃物	3.6.10.13.17.20.27	1.4.8.11.15.18.22.25.29
	不燃物	14.28	12.26
農協前～農協倉庫～給食センター～道少田～教員住宅～伏木田～大塩コース	可燃物	3.6.10.13.17.20.27	1.4.8.11.15.18.22.25.29
	不燃物	14.28	12.26
真坂～寅卯平～茅～洒垂～滑石～塚本～折戸～宝木～水口～落合～官沢コース	可燃物	5.12.19.26	3.17.24.31
	不燃物	13.27	11.25
石井草～前田～鬼越～戸倉～菅田～沼野沢～岩野草～薄ケ久保コース	可燃物	5.12.19.26	3.17.24.31
	不燃物	21	19
越虫～青生野～葉貫～戸草～蕨ノ草～湯ノ田～中沢コース	可燃物	5.12.19.26	3.17.24.31
	不燃物	12.26	24
官代～楢久保～遠ケ竜～内ケ竜コース	可燃物	5.12.19.26	3.17.24.31
	不燃物	14.28	12.26
鮫川分校（木曜のみ）、鮫中コース	可燃物	3.6.10.13.17.20.27	1.4.8.11.15.18.22.25.29
	不燃物	13.27	11.25

休日のお医者さん

月日(曜)	当番医院 棚倉町	塙町	石川町
9月16日(日)	大木	中島	添田
23日(日)	東白川中央	車田	中島
24日(月)	阿部	根本	大野(病)
30日(日)	藤田	厚生病院	石川中央
10月7日(日)	杉山	—	務川
10日(水)	和田	石川	田中内科
14日(日)	勝田	—	山本

塙セリ市場だより（2・8・20）

性別	頭数	取引価格 最高	最低	平均	平均体重	平均日齢	1kg当り単価
	頭	千円	千円	千円	kg	日	円
雌	161	744	107	325	264	310	1,232
去勢	141	583	240	417	288	301	1,447
計	302			368	275		1,338